

第五次千葉県障害者計画 主要施策管理表 平成29年度 資料1

主要施策	2 精神障害のある人の地域生活への移行の推進
------	------------------------

総合計画等

◇ 医療と福祉にまたがる支援が必要である精神障害のある人の地域生活への移行には、医療機関による退院支援や、地域の福祉関係機関による地域生活支援の両面が必要であることから、関係機関が連携して対応する地域ネットワークの構築を推進します。

◇ 自立した生活の維持や社会参加などを支援するピアサポート体制の在り方について検討を進めます。さらに、より身近な地域で、医療と福祉の連携体制の強化を図り、精神科医療機関と障害福祉サービス事業所等と連携した退院促進や地域定着の推進を図ります。

基本施策

- (1) 精神障害のある人の地域生活への移行支援
- (2) 障害のある人自身が自らの経験を基に相談支援等を行うピアサポートの推進
- (3) 精神科救急医療体制の充実

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
27	8	2	3		2	1	
28		1	3	2		1	1
29		3	3		2		

主要施策の取組状況等

平成29年度	<p>【主要施策の取組結果】</p> <p>(1) 障害保健福祉圏域毎に圏域連携コーディネーターを配置し、病院や障害福祉サービス事業所、当事者、家族、行政等による精神障害者地域移行支援協議会を開催し、地域ネットワークの構築を図りました。また、長期入院している精神障害者の地域生活への移行や、地域生活を継続するための支援に積極的に取り組んでいる2病院を、「千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院」として新たに認定し、合計13病院となりました。</p> <p>(2) ピアサポートの推進については、ピアサポート専門員養成研修を実施し、精神障害者地域移行支援協議会へピアサポーター等に参加をしていただくなど、ピアサポートの推進を図りました。</p> <p>(3) 精神科救急基幹病院を8か所から11か所に増やし、事務説明会や連携研修会を開催しました。また、身体合併症対応協力病院の登録について、連絡調整会議の中で協力要請を行いました。</p>
平成30年度	<p>【取組結果への対応】</p> <p>(1) 精神障害者地域移行支援事業で構築された精神保健福祉圏域ごとのネットワークを生かし、新たに「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を実施し、圏域ごとに代表者会議・実務者会議を開催します。千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院について、要件を満たす精神科病院を認定し、公表します。</p> <p>(2) ピアサポートの推進については、引き続き、ピアサポート専門員養成研修を実施し、圏域ごとに開催される実務者会議等へピアサポーター等に参加していただくとともに、圏域毎のピアサポートの取組み内容について情報共有を図ります。</p> <p>(3) 全救急医療圏域における精神科救急基幹病院の設置、整備を目指します。連絡調整会議、連携研修会、事務説明会等を開催し、各関係機関との連携を強化します。身体合併症対応協力病院の登録について、関係者の集まる場において協力要請を行うとともに、各病院へ個別にアプローチしていきます。</p>

最終年度の判定	概ね進展が図られています。
平成30年度	<p>【第六次計画の方向】</p> <p>差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる社会の実現に向けて、医療、福祉、介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムを構築していきます。</p> <p>精神科救急医療体制の充実のため、関係機関とのさらなる連携や輪番体制への参画病院の拡大を図ることなどにより、空床の確保を推進します。また、身体合併症に対応できるよう病院を拡充できるよう働きかけます。</p>

※最終年度の判定：

○目標数に対するAの割合が7割以上に達した場合＝「進展が図られています。」

○「進展が図られています。」に該当する場合を除きA+Bの割合が7割以上に達した場合＝「概ね進展が図られています。」

○「上に記載以外の場合＝「一部の進展にとどまっています。」